

平成20年度 国立赤城青少年交流の家企画事業
「AAP（あかぎアドベンチャープログラム）体験セミナー」
～アドベンチャー体験等から人間関係づくりを学ぼう～

< 実 施 報 告 書 >

国立赤城青少年交流の家

期 日 ・ 場 所 : 平成20年6月1日(日), 7月6日(日), 9月7日(日), 11月9日(日)
独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家
〒371-0101 群馬県勢多郡富士見村大字赤城山27

事 業 名 : AAP（あかぎアドベンチャープログラム）体験セミナー
～アドベンチャー体験等から人間関係づくりを学ぼう～

趣 旨 : 教育関係者・青少年教育関係団体の指導者及びリーダー等を対象に、グループで課題を解決し、グループが成長していくことを通して人間関係能力やコミュニケーション能力等を高めることに効果のある教育的な手法である「AAP（あかぎアドベンチャープログラム）」を体験する機会を提供することにより、青少年の心の教育の推進に資する。

事業の特色 : 「AAP（あかぎアドベンチャープログラム）」の体験を希望する人が多いのとアクティビティを広めるため、日帰りでも4回実施し「AAP（あかぎアドベンチャープログラム）」の初心者を集める。また、この事業で体験したことを自分の教育現場に持ち帰り、青少年教育にすぐに生かせる内容となっている。

募 集 人 員 : 教育関係者・青少年団体の指導者およびリーダー・地域指導者をめざす退職者および主婦など
各30名

参 加 者 : 総計61名

参加者地域 : 栃木県 : 2名、群馬県 : 48名、埼玉県 : 1名、千葉県 : 3名、東京都 : 3名、
新潟県 : 3名、愛知県 : 1名

企画のポイント : 第1回, 第2回, 第3回は「AAP（あかぎアドベンチャープログラム）」で提供している「PA（プロジェクトアドベンチャー）」を行った。各回ともほぼ同じ内容ではあったが、参加者を把握してから、参加者に合わせて、内容調整をした。仲間づくりや自分へのチャレンジに、楽しみながら取り組める内容で、まずはプログラムを体験してみたい、他者や自分との関わり方で日常に活かせるヒントを見つけたい、という方々におすすめの内容にした。また、第4回は「ラボラトリー方式の体験学習」を行った。「PA（プロジェクトアドベンチャー）」と同様、職場やクラスなどでの人間関係づくりに役立つ体験学習法で、室内で行うあかぎアドベンチャープログラムの1つである。

広報のポイント : 日帰りのセミナーということで、群馬県内と群馬県に隣接している埼玉県北部を中心にダイレクトメールを送付した。その内訳は、群馬県内青少年教育施設等、群馬県内近隣の全小中学校、埼玉県北部の全小中学校と群馬県内教育関係の学部・学科のある大学・短大である。また、群馬県内の新聞各社に掲載依頼を行った。その他、HPへの掲載や施設内にポスターの掲示やチラシを置いたり、利用団体に直接事業を宣伝したり、電話や知人を通じての勧誘を行った。

プログラム展開 : <各回>

9:20～ 受付
9:45～ 開講式
10:00～12:30 実習1
12:30～13:30 昼食
13:30～16:30 実習2
16:30～16:50 閉講式

成 果 : 群馬県内からの多くの参加者にあかぎアドベンチャープログラムを体験してもらうことができた。また、教育関係者の参加者が多く、学校で児童・生徒や学生にこの体験学習法を用いて教育することを考えて参加しており、この施設を中心として、あかぎアドベンチャープログラムが広まり、青少年問題を解決するきっかけになることを期待している。また、今後、参加した人から口コミであかぎアドベンチャープログラムの存在とその効果などが広がり、企画事業の参加者が増えることを期待している。

今 後 の 課 題 : 課題としては、日帰りのプログラムでもう少しゆったりと事業を行うための時間の確保をどうするかということと、参加者をどのようにして増やすかということである。

第1回～3回はプロジェクトアドベンチャーで、会場を移動して行ったり、「ふりかえり」に時間がかかるので、時間がもう少しほしかった。昼休み等も忙しかった。しかし、日帰りのプログラムであるので、遠くから参加する人もいと想定すると、あまり朝早くから始めるわけにもいかず、そうかといって終了時刻を遅くすれば、帰るのに困るので活動時間を増やすことは難しい。次に参加者であるが、今回、口コミでの参加者が多かった。HPやダイレクトメール、報道機関を使った広報の仕方などの他に、事業期日の設定なども含めて、今後検討する必要がある。



第1回 アクティビティ「キャッチ」



第2回 アクティビティ 「大脱走」



第4回
ラボラトリー方式の体験